

日常臨床におけるがん標準治療の重要性

—胃がん治療を例にした、やさしい解説—

恵佑会札幌病院胃がんグループ

「がん治療」をおこなうために、治験や臨床試験などの様々な臨床研究がおこなわれてきた。本勉強会では臨床研究の中で重要な臨床試験の組み立て方、治験の意義について説明した。臨床研究から科学的根拠（エビデンス）がつくられるが、エビデンスのなかでもバイアスがかかりにくいメタアナライシスが最も信頼度が高いエビデンスである。

しかしエビデンスが必ずしも最善の治療とはいえず、倫理的・社会的に認められるものが、推奨度の高いエビデンスと考えられ、がんの標準治療はこれらの基準から選ばれている。したがって、「がんの標準治療」は「並み」の治療ではなく、チャンピオン治療であり、重要である。